

第14回保育部会研究委員会報告書

浜田市保育連盟会長 煙艸 のぞみ			保育部会長 松浦 清美		
開催 日時	令和7年6月25日	開催場所	浜田市総合福祉 センター 研修室	記 録 者	渡邊 さやか (三隅保育所)
	14:00~16:30				
出席者	みのり第2 浜田ひかり うみかぜ おぐに くもぎ 三隅			欠 席 者	なし

協議事項

○各園の取り組み、実践、課題について意見・情報交換

A園

- 0,1,2歳児が同じ生活空間で過ごしている。
 - ・0,1歳児が2歳児のあそびを邪魔してしまう。
 - 0,1歳児にも2歳児と同じコーナーを作り、2歳児のあそびを保障。
 - ・ダンスの引き出しを出したがる
 - 出しても良い引き出しを用意し、自分で出し入れできるようにしている。
 - ・押し入れに入りたがる
 - 入っても良いスペースを作る。
 - ・子どもの動きを見ながら、必要なものを出し入れしている。

【課題】

2歳児の空間をどう作っていくか。

B園

- ・0歳児の主体性とは何か。
- ・出ているおもちゃを自分で選んで遊んでいる。→選ぶことが『主体』？
- ・0歳児は静かな環境の方があそびが邪魔されないように感じる。

C園

異年齢の関わり→年齢が上の子を見て、小さい子が真似をしながら色々なことに挑戦する姿が見られる。

【課題】

想いが強い職員と周りとのバランスをどうとっていくか。

D園

- ・コーナーあそびをすると、おもちゃがごちゃごちゃになる。
 - 部屋を2つ使ったり、子どもの様子を見ながら出すものを試行錯誤したりしている。

【課題】

手作りおもちゃなど、必要なものを作る時間や準備する時間がなかなか持てない。

E園

異年齢交流…4歳児の子どもたちが離乳食を食べさせに来てくれる。
0歳児のペースに合わせてながら食べさせてくれている。
→4歳児目線で見ると良く見えるが、0歳児はどう思っているのか。
0歳児の主体は保障されているのか。

【課題】

0, 1, 2歳児で関わると遊びが広がるが、2歳児が部屋に孤立しがち。

F園

・視察研修を参考にしながら、コーナー作りを模索中。

【課題】

- ・コーナーを区切っても、おもちゃが入り混じってしまう。
- ・少しでも開いた空間があると子どもが走る。
- ・子ども(クラス)の特性も考慮しながらコーナー作りをしていく。

○今後の取り組み

- ① 生活(食事)・あそび 一くもぎ、ひかり、三隅
- ② 異年齢の関わり 一うみかぜ、おぐに
- ③ 子どもの姿からの語り合い 一みのり第2

- ・それぞれ実践を続け、記録を取っていく。
- ・記録の様式については、それぞれで考え、作成する。

○アドバイザーについて

検討中

○次回研究委員会

7月28日(月) 浜田市総合福祉センター 研修室にて開催予定

以上

それぞれの園の実践や課題について話し合いを行いました。他園の実践や活動、共通の悩みなどの話ができ、参考になる部分が大きかったです。